

学校 番号	23	学校名	更級農業高等学校
----------	----	-----	----------

## 令和7年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和7年6月25日（水）実施】

### 1 実施概要（協議研究事項を含む）

- 1 学校長あいさつ
- 2 学校評議員委嘱
- 3 出席者自己紹介
- 4 議事
  - (1) 学校の現状について
    - スクール・ミッションと方針  
農業学習を通じて、専門性と汎用的な力を育み、地域と自身のウェルビーイングを実現する人材を育成。三つの方針（育てる生徒像・進める学び・目指す学校像）を今年度中に再検討する予定。
    - 学科改編と教育活動  
今年度より3学科6コースに再編。1年生から新体制を適用。修学旅行やクラスマッチなどの行事も活発に実施。
    - 創立120周年と卒業生数  
来年度で創立120周年。卒業生は累計19,226名になった。
    - 教育目標とスローガン  
「農業を学ぶ・農業で学ぶ・農業に学ぶ」を掲げ、地域社会に貢献できる人材育成を目指す。
    - 入試制度の変更と結果  
前期選抜に学力検査を導入し、個人面接へ変更。前期倍率1.69倍、後期1.17倍と高倍率で定員超過により不合格者も発生。
  - (2) 学校評価について
    - 令和6年度の生徒・保護者アンケート結果を円グラフで提示。また、学校関係者評価書を作成・掲載。
    - 令和7年度の学校評価計画を策定。
    - 教育活動のスローガン：「農業を学ぶ・農業で学ぶ・農業に学ぶ」。
    - 評価観点は①学習指導②生徒指導③キャリア教育④社会に開かれた教育課程⑤農業教育で行う。
  - (3) 生活指導部より
    - スマートフォンの管理  
登校から下校まで、スマートフォンは個人ロッカーに保管。現在、ルールは適切に運用されている。
    - タブレット端末の活用  
1人1台の環境が整備され、学習活動に活用。スマートフォンとの混同を避けるため、使用ルールを明確化。
    - 生徒の様子  
全体的に落ち着いた学校生活を送っており、特に3年生は進路に向けて真剣に取り組む姿が見られる

#### (4) 進路指導部より

##### ○令和6年度卒業生の進路状況

卒業生143名の多くが就職または進学を希望。就職希望者のうち3名は未定。

##### ○就職率と傾向

就職率は高く、特に地元企業への就職が多く見られた。

##### ○令和7年度の進路支援

進路希望調査を実施中。7月1日より求人票公開、7月5日には外部講師による就職試験対策講座を実施。夏休み中に企業見学・面接練習を行い、9月16日から就職試験が本格的に開始される。

##### ○支援方針

生徒一人ひとりに寄り添った丁寧な支援を継続していく。

#### (5) 生徒会より

##### ○校外活動の積極的な実施

コロナ禍の収束に伴い、校外での地域活動を積極的に展開。

##### ○主な活動内容

4月：篠ノ井駅でのあいさつ運動。

5月：地域フェスティバルへのボランティア参加。

6月下旬：地域イベントでの支援。

##### ○今後の方針

生徒会を中心に、地域との連携をさらに広げていく予定。

#### (6) 農業教育について

##### ○コース編成の変遷と再編

昭和末期に地域ニーズに基づき、8コースで展開していたが、令和6年度から3学科6コースへ移行。現2年生が旧課程の最終学年。

##### ○新学科とそのコース

地域園芸科：フルーツテックコース・ベジテックコース

植物活用科：アグリデザインコース・フラワーデザインコース

食農科学科：フードサイエンスコース・フードデザインコース

##### ○地域との連携活動

伝統野菜の普及、姨捨棚田の保全、地域食文化の復活などを柱に、地域の小中学校とも連携。

##### ○自然環境保全の取り組み

オオルリシジミの保護、神代桜の再生プロジェクトなど、注目される活動を展開。新聞報道にも取り上げられている。

#### (7) 質疑応答・意見交換

## 2 今回の実施に当たって工夫したこと

参加の申し込みをfaxからGoogle formでしていただく頂くようにした。

## 3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

### (1) 質問事項

○3コース制への生徒の反応について質問。

→ 1年生の総合実習は週2時間（月曜日1・2時間目）でトウモロコシ栽培などを体験。ローテーション形式で複数分野を学び、2年次のコース選択に活かしている。

○志願者増加の理由について質問。

→ 学校側が中学校へ積極的に情報発信。「農業を学ぶ・農業で学ぶ・農業に学ぶ」の理念

を丁寧に説明。農業を通じて幅広い力を育む学校であることを伝えたことが要因と思われる。

○学校のインスタグラムは公式か質問。

→ 学校側より、職員撮影・管理職承認の写真であると回答。生徒の顔が写る場合は事前許可を得て掲載。

#### (2) 提案事項

○地域防災訓練で学校施設の活用を希望。唐臼地区は740世帯、うち3割が高齢者。学校の3階建て教室棟を一時避難場所として活用できないか。

→ 防災面では市の一時避難場所に指定されており、短期的な避難には協力可能。長期避難は物資面で課題あり。

○地域ホームページ立ち上げにあたり、生徒による情報発信支援を希望。

→ 情報発信支援については、情報処理の授業や部活動を通じて検討。

○地区の文化祭(11月)への生徒参加を希望。写真部による撮影・展示などを通じて地域交流を深めたい。

○金融リテラシー教育の充実を提案。出前授業の実施も可能。

○保護者として、詐欺・犯罪などの話を含めた金融教育の機会を希望。

○中学校との連携に感謝。高校生による紹介や交流が中学生の学びに貢献。アントレプレナーシップ事業にも協力を希望。

また、部活動の地域移行に伴い、地域クラブの立ち上げを進行中。更級農業高校のクラブ活動が進学の動機になっていることに感謝。

## 4 成果と課題(学校評議員会以外の活用状況を含む)

### (1) 成果

中学校への積極的な情報発信と「農業を通じて幅広い力を育む」という教育方針などを丁寧に説明することにより、学校の魅力が伝わり、志願者が増加している。また、高校生による伝統野菜の紹介や交流が中学生の学びに貢献し、進学意欲の向上にもつながっている。

ホームページだけでなくインスタグラムなどのSNSによる情報発信することで、学校の様子を理解していただけている。

### (2) 課題

地域との連携が進む一方で、生徒や教職員の負担増加の可能性もあるため、活動のバランスや支援体制の整備が必要である。